

野菜の生育状況及び価格見通し（平成27年1月）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん、にんじん)	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	生育は、概ね順調。 ただし、ほうれんそう、レタスは12月以降の低温で生育遅れ。
果菜類 (きゅうり、なす等)	生育は、概ね順調。
土物類 (ばれいしょ、さといも、 たまねぎ)	収量は、概ね平年並。

（各論）

品目	主産県 ※（ ）書きは 昨年1月の入荷 シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)	
			1月中旬	1月下旬
だいこん	神奈川(51%) 千葉(40%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	千葉(81%) 埼玉(8%)	・主産地で生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでいたため、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。	↘	↘
はくさい	茨城(81%) 群馬(9%)	・主産地で生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでいたため、 <u>出荷数量が平年をやや上回る</u> ものの、 <u>価格は概ね平年並</u> になる見込み。	→	→

キャベツ	愛知(53%) 千葉(26%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地において、昨年10月の台風18号及びその後の曇雨天で、根の張りが弱いことに加え、12月以降の低温によりやや小玉傾向となっているものの、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、低温が続けば、根の張りが弱いため生育が遅れ、価格は平年を上回る可能性。 	→	→
ほうれんそう	群馬(30%) 茨城(22%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県において、昨年2月の大雪による栽培用ハウスの倒壊により作付が減少していることに加え、12月以降の低温により生育が遅れていることから、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。 	↗	↗
ねぎ	千葉(31%) 埼玉(25%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 	→	→
レタス	静岡(34%) 兵庫(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地で12月以降の低温により、生育が遅れていることから、1月中旬にあつては、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。 1月下旬にあつては、生育が回復し、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、レタスは低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目であるため、今後も低温が続けば、生育が遅れ、1月下旬も価格は平年を上回る可能性。 	↗	→
きゅうり	宮崎(39%) 高知(21%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地で12月以降の低温により、生育が遅れており、<u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格は概ね平年並</u>になる見込み。 	→	→

なす	高知(63%) 福岡(18%)	・主産地で12月以降の低温により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格は概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
トマト	熊本(44%) 愛知(17%)	・主産地で12月以降の低温により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格は概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ピーマン	宮崎(41%) 高知(18%)	・主産地で12月以降の低温により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格は概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ばれいしょ	北海道(61%) 長崎(28%)	・北海道において、収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>	↘	↘
さといも	埼玉(43%) 千葉(29%)	・収穫は概ね終了しており、主産地の収量が概ね平年並みであることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(84%)	・収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→